総合型選抜及び学校推薦型選抜に係る入学者選抜方法の変更について

令和８年７月21日

九州歯科大学では、総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学者選抜方法において、一定以上の学力を具えていることを判断・評価するために、大学入学共通テストの素点を基準点として活用していましたが、2027年度入学者選抜（2026年度実施）より、素点ではなく、**段階表示**を基準点として活用します。

なお、これは受験者の学力到達度を公平に評価しやすくするための変更であり、**大学入学共通テストの基準点の難化を目的としたものではありません**。

詳細は以下のとおりです。

1　変更の趣旨・目的

本学の総合型選抜及び学校推薦型選抜は、一定以上の学力を具えていることを前提に、学力だけでは測れない、本学で学びを受けるにふさわしい資質を具えた方々を選抜することを基本方針に掲げて実施しています。この基本方針に沿った選抜を実現させるために、総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学者選抜方法において、本学が指定する大学入学共通テストの科目の得点及びその合計得点の取得のボーダーラインにあたる基準点（※1）を、素点（※2）で活用していました。その結果、年度ごとの科目の平均点（難易度）の変動によって、基準点の実質的な難易度も年度ごとに変動し、素点（※2）で固定化された基準点を活用すること、及び選択科目間に格差が生じることが課題となっていました。

この課題を解決する方法を検討した結果、この度、一定以上の学力を具えていることを判断・評価する方法として、大学入学共通テストの段階表示を活用することとしました。

今回の段階表示の活用による入学者選抜方法の変更は、**年度ごとの大学入学共通テストの難易度の変動によって、基準点の実質的な難易度も年度ごとに変動してしまっていた従来の選抜方法から脱却し、選抜種目（小論文・個人面接・集団討論（総合型選抜のみ））の成績が、入学者を選抜するにあたって、より反映されること**を目的としています。また、選択科目間の格差についても、段階表示を活用することで、科目選択による得点効率差（点が取りやすい・取りにくい）が従来の選抜方法と比較して解消されやすくなると考えています。

※1　歯学科：590/900 点、口腔保健学科：420/800 点

※2　一部の科目については、素点を調整して利用しています。

2　大学入学共通テストの段階表示について

（1）段階表示について

段階表示は、各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価（方法）に活用できるよう、「科目別得点」に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すものです。

なお、試験成績としては「科目別得点」における1から9の9段階として表示します。

（2）換算表の発表

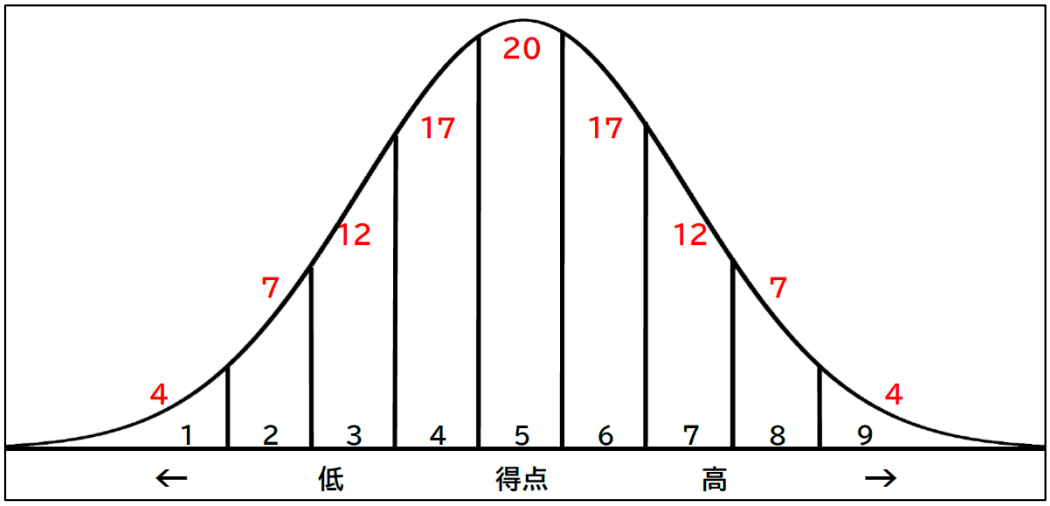
科目別得点等における段階表示の換算表については、大学入学共通テスト試験実施後に大学入試センターのウェブサイトで発表されます。

（3）段階表示の方法

「科目別得点」を、「スタナイン（Stanine）」（※）という方式を用いて、9段階に換算します。

※「スタナイン（Stanine）」とは、分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ 4、7、12、17、20、17、12、7、4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1から9の9段階に換算する方式です。以下は、上位からのパーセンテージと段階別評価を表・グラフ化したものです。

上位%	段階別評価
～4	9
4～11	8
11～23	7
23～40	6
40～60	5
60～77	4
77～89	3
89～96	2
96～100	1



3　入学者選抜方法の変更内容（学生募集要項より一部抜粋）

（変更前）

・本学が指定する大学入学共通テストの科目の合計得点が基準点以上の受験者の中から、選抜種目（小論文・個人面接・集団討論（総合型選抜のみ））の成績上位順に合格者を決定します。

・選抜種目の成績が同点の場合は、大学入学共通テストの合計得点が高い方を上位とします。

（変更後）

・大学入学共通テストの得点は、「科目別得点」（※）における1から9の9段階の段階表示（スタナイン）とします。

・本学が指定する大学入学共通テストの科目の段階表示（スタナイン）の合計得点が基準点以上の受験者の中から、選抜種目（小論文・個人面接・集団討論（総合型選抜のみ））の成績上位順に合格者を決定します。

・選抜種目の成績が同点の場合は、大学入学共通テストの合計得点（段階表示（スタナイン））が高い方を上位とします。

※ 理科の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）の段階表示（スタナイン）ではなく、出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」）の段階表示（スタナイン）の得点を利用します。

◎　基準点及び配点（選抜種目及びその配点に変更はなし）

学　科	大学入学共通テスト基準点		選 抜 種 目	配　点	
	変更前	変更後		総合型選抜	学校推薦型選抜
歯学科	590点 （900点満点）	52点 （81点満点）	小 論 文	200点	100点
			個人面接	100点	
			集団討論 （総合型選抜のみ）	100点	-
口腔保健学科	420点 （800点満点）	34点 （72点満点）	小 論 文	100点	
			個人面接	100点	
			集団討論 （総合型選抜のみ）	100点	-

◎ 大学入学共通テストの教科・科目（教科・科目及びその選択方法に変更はなし）

学科	教 科	科目	選択方法	配点	
				変更前	変更後
歯学科	国 語	『国語』	必　須	200点	18点(※1)
	地理歴史	『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』	左記の科目から1科目を選択(※2)	100点	9点
	公 民	『公共，倫理』、『公共，政治・経済』			
	数 学	『数学Ⅰ，数学A』	必　須	100点	9点
		『数学Ⅱ，数学B，数学C』	必　須	100点	9点
	理 科	『物理』、『化学』、『生物』	左記の科目から2科目を選択	200点	18点
	外国語	『英語』(リーディング、リスニング)	必　須	200点	18点(※3)
口腔保健学科	国 語	『国語』	必　須	200点	18点(※1)
	地理歴史	『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』	左記の科目から1科目を選択(※2)	100点	9点
	公 民	『公共，倫理』、『公共，政治・経済』			
	数 学	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』	左記の科目から1科目を選択	100点	9点
		『数学Ⅱ，数学B，数学C』	必　須	100点	9点
	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(※4)	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2つを選択	100点	9点(※4)(※5)
		(上記の科目を選択しない場合)『物理』、『化学』、『生物』(※5)	左記の科目から2科目を選択		
	外国語	『英語』(リーディング、リスニング)	必　須	200点	18点(※3)

※1　国語の得点は、9点満点を18点満点に換算して利用します。
（例：7段階の場合の得点は、14点となります。）

※2　2科目を受験している場合は第1解答科目を採用します。

※3　リーディング(9点満点)とリスニング(9点満点)の合計18点満点です。

※4　理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と「基礎を付していない科目」の計2科目を選択する場合には、**『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を第1解答科目に選択すること。**第1解答科目の成績を合否判定に利用するため、第2解答科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験しても合否判定の対象になりません。
また、得点については、合計18点満点を9点満点に換算して利用します。
（例：物理基礎が6段階、化学基礎が5段階の場合の得点は、5．5点となります。）

※5　「基礎を付していない科目」(『物理』、『化学』、『生物』)を2科目受験した場合、基礎を付した出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」）を受験したものとみなし、合計18点満点を9点満点に換算して利用します。
（例：化学が8段階、生物が4段階の場合の得点は、6点となります。）